

全国都市緑化フェアについて

国内最大級の緑のイベント



【写真】浜名湖花博 2014 第 31 回全国都市緑化しずおかフェア

全国都市緑化フェアは、国民ひとり一人が緑の大切さを認識するとともに、緑を守り、愉しめる知識を深め、緑がもたらす快適で豊かな暮らしがある街づくりを進めるための普及啓発事業として、昭和 58 年(1983 年)から毎年、全国各地で開催されている花と緑の祭典です。



都市緑化の推進を目的とした全国イベント

- 緑化フェア開催の目的
- ・都市緑化意識の高揚
 - ・都市緑化に関する知識の普及
 - ・国、地方公共団体、民間の協力による都市緑化の全国的な推進

■市民参加事業

第 29 回全国都市緑化フェア TOKYO【三鷹市沿道緑化】来場者をまち全体でおもてなしをします。このフェアをきっかけに、各団体のネットワークの活性化、新たな仲間作りが生まれるなどの効果があります。



■人々の心を魅了する、集客力が高い 花・緑のイベント

・都市緑化をテーマとした 30 年以上の歴史を持つイベントです。他の緑のイベントと比較しても、イベント集客力の効果は非常に高いといえます。また安定した集客が期待できるイベントと言えます。

・毎年定期的で開催されている地方博は全国都市緑化フェアのみです。これは花や緑が普遍的な魅力を有していることや、フェアが都市緑化をテーマとした緑ある暮らし、街づくり等、多くの方に興味、期待値が大きいイベントであるためと考えられます。

■広範囲の地域から多くのお客様のご来場を誘うイベント

・開催公共団体はもとより、それ以外地域からも花、緑に興味のある多くのご来場者が見込めます。都市緑化意識の啓発や情報発信、また開催公共団体の魅力を知っていただく観光振興、個人消費による経済的な貢献にも効果が期待できます。

■皇室をお迎えする『全国都市緑化祭』を開催

・全国都市緑化祭では、『皇室のおことば』『子どもたちの緑化宣言』『みどりの社会貢献賞の授与』『フェア会場での皇室による記念の植樹』等が行われ、都市緑化の重要性を強く訴えかけるとともに、緑化祭に招待される地元の緑化活動関係者等の方々にとって大きな励みとなっています。

都市緑化フェア主要イベント模様

■庭園コンテスト

浜名湖花博 2014 第 31 回全国都市緑化しずおかフェア【国土交通大臣賞受賞作】
多くの民間企業、市民団体が参加し、緑ある豊かな暮らしを来場者へ披露します。

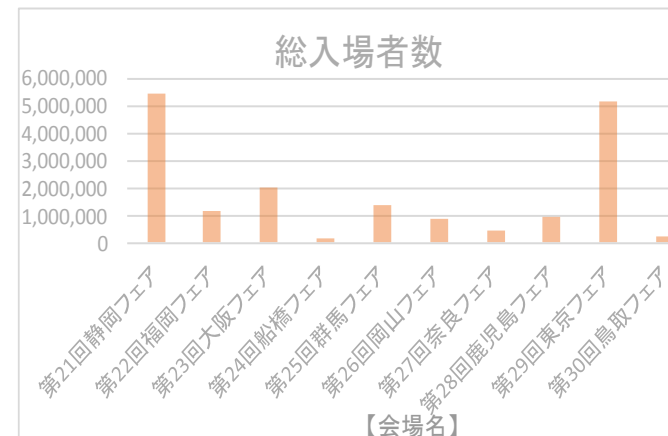


■シンポジウム

第 30 回全国都市緑化とっとりフェア【鳥取大学】
自治体、専門家、市民、団体が参加し、地域にふさわしい緑化のあるべき姿のシンポジウムを開催します。



多くのご来場者を魅了する緑の最大級イベント



■過去 10 年間の総来場数は 1790 万人

500 万人以上のご来場をいただいた静岡、東京フェアをはじめ、概ね 100 万人程のお客様を誘致することができます。船橋、鳥取フェアにおいても 20 万人以上のご来場があり、盛況に開催されました。

全国都市緑化フェア開催要綱

改定 平成 23 年 5 月 25 日 国土交通省公園緑地・景観課緑地環境室 国都緑環第 72 号

要綱 第 1 条 目的 全国都市緑化フェアは、都市緑化の意識高揚、都市緑化に関する知識の普及等を図ることにより、国、地方公共団体及び民間の協力による都市緑化を全国的に推進し、もって緑豊かな潤いのある都市づくりに寄与することを目的とするものである。

全国都市緑化フェアの統一基本理念

『緑ゆたかなまちづくり』

窓辺に花を・くらしに緑を・街に緑を・あしたの緑をいまつくろう。

■全国都市緑化祭のご様子 (浜名湖花博 2014 第 31 回しずおかフェア)



園内のご視察



子供たちの緑化宣言



記念植樹祭

第36回全国都市緑化信州フェア基本構想要約版

1 開催の意義

1 信州らしい緑化意識の高揚

信州には、高嶺の連なり、木立に包まれる高原とまばゆい草原、里山と美しい田園があり、それらの四季の変化になじんだ伝統的なまちなみがあり、豊かな水に育まれたみどりの恵みがあります。信州のみどりは、自然と調和した暮らしの中で時間をかけて生み出されてきました。私たちの健康長寿の源がここにありま

す。全国都市緑化フェアの開催により、地域のみどりが果たしてきた役割をあらためて認識し、みどりの恵みに感謝する心を育むとともに、信州らしい緑化意識を一層盛り上げ、暮らしの質が高まることを期待できます。

2 花と緑に囲まれたうるおいのあるまちづくりの推進

信州松本平は、花いっぱい運動の発祥地であり、屋敷林の保全を図るなど、これまで日本の屋根と呼ばれる北アルプスの麓で育まれた緑化意識のもと、地域の皆様が多くの緑に関わる活動を展開しています。

全国都市緑化フェアの開催により、まちなみや身のまわりにあるみどりを再認識し、山から里、里からまちへ緑を紡ぎ、それらをネットワークすることで花と緑に囲まれたうるおいのあるまちづくり、美しいふるさとづくりの推進が期待できます。

3 緑化によるにぎわいの創出

花と美しい緑にあふれた心地よい空間は、来訪者を和ませ、心豊かな時間を提供します。

全国都市緑化フェアの開催により、各会場において新しい緑化の技術や優れたデザイン等を駆使したみどりの情報や空間を提供することで緑に携わる地域の産業が振興されます。また、北アルプスの麓に連なる「花と緑の道」の周遊が促されることにより、地域に新しい活気やにぎわいが創出されることが期待できます。

4 緑化の推進力となる人材の育成

将来に向かってみどりのまちづくり、ふるさとづくりを継続する力となるのは、緑への愛情や緑化の知識と意欲を持った県民・市民、民間企業、多様な主体の方々、そして子どもたちです。

全国都市緑化フェアの開催により、緑を慈しみ、緑を大切にす

る人材を育てるとともに、将来にわたって活躍できる舞台を整えていくことで緑豊かな環境の創造につながります。そして全国都市緑化フェアでの様々な緑の展開により、次世代を担う子どもたちに緑の大切さや尊

さ、ふるさとのすばらしさを伝えることが期待できます。

2 基本理念

信州は緑の国

山々の雪を源とする清らかな水に育まれるみどり
厳しくも豊かな自然を敬い、寄り添うわたしたちのいとなみ

みどりに包まれた心豊かな生活
しあわせが五感を満たしている
この恵みを全国、世界のみなさまとわかちあいたい

わたしたちはみどりのすばらしさを再認識し、伝え、
うるおいのあるまちづくりを未来につなげていくため

北アルプスを望むここ信州松本平で
第36回全国都市緑化信州フェアを開催します

3 開催方針

(1) 緑とひとが調和する信州らしさを感じるフェア

(信州の風景・食 健康長寿 自然との調和)

四季の鮮やかな彩りが次々と変化する信州は、農や林のいとなみがあり、食文化も豊かで、伝統行事も盛んです。そして緑とともにある暮らしが、心と体の健康を育み長寿の源となり、心豊かな生活を営んできました。

信州フェアでは、いつ、どこにいてもさりげなく感じられる、私たちが誇りとする山岳景観、農村景観との調和を強く意識し、いままで営まれてきた持続可能で豊かなライフスタイルを更に磨き、山・里・まちがつながり、緑とひとが調和する信州らしさを感じるフェアを目指します。

(2) ひとりひとりが主人公となり共につながるフェア

(ユニバーサル化 人材育成(コミュニティ) 地域力向上 官民協働連携)

価値観が多様化する社会となり、それぞれが感じる時の流れや、モノへのこだわりなど、今は違いを認めあう社会へと成熟してきています。

信州フェアでは、県民・市民のひとりひとりが、主催者の一員として来場者を迎え、また来園者としても心から楽しめるよう、お年寄り、車椅子の方、障がいのある方、そして子どもや大人までだれもが参加し協働できるユニバーサルな場を展開します。

誰もがそれぞれを必要とし、つながり、将来にわたって地域のコミュニティを高めるフェアを目指します。

(3) 日本のまん中 信州から広がるフェア

(グローバル化 観光振興)

信州は地理的に日本の中心で、南北に長く、高嶺から平地までの高低差も大きいため、山から里への季節のうつろいを長く感じられる特徴を有しています。

信州フェアでは、緑と人が調和した暮らしのすばらしさを、日本のまん中、山岳高原空港を有するここ信州松本平から情報発信し、多くの信州ファンを創り出すことを目指します。

緑に包まれるアウトドアアクティビティを広げるとともに、観光交流・移住人口の増加、緑・環境に関わる産業などの広がりを通じ、信州フェアの取り組みが地域や国内はもとより海外にも広がるグローバルなフェアを目指します。

4 開催テーマ（実施要綱第6条）

全国都市緑化フェア統一開催テーマ

「緑ゆたかなまちづくり」

～窓辺に花を・くらしに緑を・街に緑を・あしたの緑をいまつくろう～

信州フェア開催テーマ

北アルプスの麓から広がる 花と緑に包まれた しあわせ暮らし

- (5) 想定来場者数 事業内容を踏まえ、基本計画策定時に設定する。
- (6) 入場料 メイン会場の有料化も検討する。（集客可能な催事の検討）
- (7) 事業費 事業内容を踏まえ、基本計画策定時に確定する。
- (8) 事業スケジュール

項目	平成28年度(開催3年前)	平成29年度(開催2年前)	平成30年度(開催1年前)	平成31年度(開催年)
全体計画	基本構想	基本計画	実施計画	全国都市緑化祭
会場整備		設計・整備		撤去
国との協議	大臣協議・同意			
実行体制	懇談会 懇談会 パブリックコメント	実行委員会設立・総会 総会	総会	実行委員会解散

図：事業スケジュール

5 基本的事項

- (1) 名称 第36回全国都市緑化信州フェア
- (2) 主催者等 提唱：国土交通省
主催：長野県・松本市・大町市・塩尻市・安曇野市・
公益財団法人都市緑化機構
本フェア事業の実行組織として実行委員会を設立する。
- (3) 開催期間 平成31年4月中旬～6月中旬を基本とする。
※期間中全国都市緑化祭を実施する。
- (4) 会場構成 メイン会場：【松本・塩尻会場】「長野県松本平広域公園」
サブ会場：【安曇野会場】「国営アルプスあづみの公園（堀金・穂高地区）」
「長野県烏川溪谷緑地」
【大町会場】 「国営アルプスあづみの公園（大町・松川地区）」
その他：「サテライト会場」、「サポート会場（スポット）」を設定する。
(メイン、サブ会場以外は、基本計画以降に事業内容等を勘案し設定)

6 事業推進体制等

- 《事業推進体制》本フェアでは、円滑な事業推進やフェア後の発展を目指し、主催者による多元的な体制を想定する。
- 《参加協働連携》本フェアをきっかけとし地域活性化、地域力向上に資する持続的な参加を促し協働連携をしながら人材育成の場の創出、交流を促進する。
- 《会場計画》本フェアの拠点となるメイン会場では、求心力の源となる中信地区の風土景観と調和する魅力的な景観を創出するとともに、サービス面、運営面に注力し快適な会場環境、空間を演出する。